

補助事業番号 19-16

補助事業名 平成19年度産業デザイン広報活動等補助事業

補助事業者名 財団法人日本産業デザイン振興会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

デザイン振興の意味合いは、単に良いモノを作り、デザイナーの育成を行うという段階から抜け出し、モノが作り出される背景・シナリオに基づく企画・製造・販売・評価に至るまでのプロセス全体の振興を意味するものに変化してきております。

特に、グローバル化による厳しい国際競争を強いられているわが国産業界の構造を考えると、相対的に高いコスト（人件費・原材料費等）・価格に見合う「価値ある製品」を作り出すことが望まれている点がことさら重要なポイントとなってきております。当財団ではデザイン振興を通じて、この「価格に見合った価値ある製品作り」の実現で直接・間接的に機械工業の需要拡大をはかり、中小企業の振興・地域経済の活性化に貢献することを目的としております。

デザインに対する産業界の取組み姿勢は、近年とみに積極さを増して平成19年度のグッドデザイン賞（Gマーク）の応募数は、2,945点となり、デザインに対する企業の取組みの真剣さを窺い知ることができました。更に、今年度は新たにギャラリースペースの運営、リエゾンセンターにおける人材育成の取り組みなど産業界、教育界等との連携のもと、各種事業を通じてデザイン活用の有効性をPRいたします。

(2) 実施内容

ア. デザイン振興プラザ事業

東京ミッドタウン・タワー棟5階の一部をデザイン振興プラザとして借用し、先端デザインの発信や世界におけるデザインの現状紹介など多種多様なデザイン情報の収集・発信拠点として活用いたしました。このスペースを利用して各回毎にテーマを設けた2回の企画展を実施し、国内外のデザイン情報を広くPRいたしました。

イ. 産学連携推進事業

① リエゾンセンター等運営事業

東京ミッドタウンの一角に「知の拠点」としてリエゾンセンターを新設し、海外の教育機関8校と国内企業の共同研究、各種セミナーの開催（7回実施）のための「場」の提供と実施のためのサポートを行いました。また国際シンポジウムの開催（1回）を実施いたしました。

② 人材育成・活用事業

「デザインイニシアティブな方法」（製品等の将来的なあり方をデザインで率先し、賛同を得て開発の方針を進める等）の普及のため、産業界各社・デザイン系大学の融合による企画展「デザインコミュニケーション」を開催いたしました。この企画展は東京ビッグサイトにて2007年8月24日から3日間開催したグッドデザインプレゼンテーション（略称GDP）に併設された特別企画展として実施し、来場者数は37,827人（GDP入場者数）を数えました。

ウ. デザイン戦略的活用事業

デザインの企業経営への結びつきを更に深め、創造的なビジネス展開をサポートすることを目的として、デザイン活用実績の高い企業を調査し優良企業8社を選出し公表を行いました。

2. 予想される事業実施効果

ア. デザイン振興プラザ事業

このプラザ・スペースを有効活用することによって国内外の良質デザインの多角的・多面的な広報・発信を行い産業デザインにインパクトを与え続けることができます。また企業、デザイナー、教育機関等広範囲にわたるデザイン関連の情報収集・発信を行い産業デザインのレベルアップを強力に推し進めることができます。

イ. 産学連携推進事業

① リエゾンセンター等運営事業

国際的に著名な国内外のデザイン研究機関や国内企業、デザイン系学生の連携によって開催された国際シンポジウムや各種セミナー、これを紹介した当財団HPは広く発信され、参加者はもとより企業をはじめとする関係各所の注目を集めました。これらを契機として海外研究機関への留学や新たな産学協同プロジェクトの発生等すでに新しい芽も生まれ始めており、グローバルな高度デザイン専門教育の中心的機能としての役割は確実に増進しております。

② 人材育成・活用事業

特別企画展「デザインコミュニケーション」の開催に対する出展は一般企業21社、デザイン系大学4校、産学協同1組と計26組の参加で展示内容についても従来に無いコンセプトをもったものとなり来場者・報道機関の注目を集めました。産学共同の「場」を提供することにより、学生に作品発表の機会を与え、企業と学生のマッチングサポートを行うことによって学生、産業界ともに今後の充実した展開につながる基礎となる見通しであります。

ウ. デザイン戦略的活用事業

これまでデザインの活用実態が明らかでないまま社会的ニーズが急成長してきた分野における「デザインを重要な経営資源として経営を実践し、社会を切り拓く」会社の調査・選定および公表をいたしました。これらにおけるデザイン活用は今後の企業経営に有効な指針を与えると同時に「先駆事例」の提示は追従他社のよきナビゲーターになってゆくことと思われます。

3. 本事業により作成した印刷物等

今年度に該当事項はありません。

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名 : 財団法人日本産業デザイン振興会（ニホンサンギョウデザインシンコウ
カイ）
住 所 : 107-6205
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階
代 表 者 名 : 理事長 飯塚 和憲（イイツカ カズノリ）
担 当 部 署 : 総務部（ソウムブ）
担 当 者 名 : 課長 若木 潔（ワカキ キヨシ）
電 話 番 号 : 03-6743-3772
F A X 番 号 : 03-6743-3775
E - m a i l : wakaki@jidpo.or.jp
U R L : <http://www.jidpo.or.jp>